

次の社会

ネクストソサエティ
誰もみたことがない共助社会

FUKUSHInet 2018/03 OKADA

【CSR】

●「企業の社会的責任」



「ESG」 Environment, society, governance 環境・社会・主体的な統治

持続可能な開発のための2030アジェンダ



Public Private ACTION for Partnership!!
 ~SDGsで日本を元気に, 世界を元気に
 その主役はあなたです!~

【PRI】 Principles for Responsible Investment

●責任投資原則

責任投資原則は法的拘束力のない任意の原則であり、ESG課題を考慮する事が機関投資家にとって投資リスクマネジメント基準及び社会的責任になるとされる。ESG投資持続可能な社会の構築に向けて貢献できているかどうかに着目して企業を選別する投資手法。(ウイキペディアより)

ESG(環境・社会・主体的な統治)について、投資先に問題があれば、投資家は、投資した資源を引き上げるという話を聞きました。

●社会の変化

CSRやSDGsさらに、PRIは、企業にとってリスクがある社会の変化です。

これらに、対応できなければ、倒産の危機もある。それは、大企業のみでなくすべての企業が影響を受けます。

(下請け中小企業・サプライチェーン)にも影響を与えるものです。

さらに、少子化・高齢化の社会変化にも対応できなければなりません。

サプライチェーン 【英】: Supply Chain

日本語で「供給連鎖」と訳され、原材料・部品等の調達から、生産、流通を経て消費者に至るまでの一連のビジネスプロセスのこと。

これは、企業のみに影響する社会変化ということではなく、NPO法人にも影響を及ぼす。

●NPO法人への期待

社会問題に自らの活動で解決しようとして、立ち上げられる法人。

NPO法人が確実に成果をあげることができれば、社会は、良くなるに違いない。

受益者から直接に費用をいただくということではなく、無償あるいは、低価格で提供しようとするNPO法人の経営は、企業の経営より複雑で難しい。

NPO法人が必要とする支援

- 1) 事業実施に必要な専門知識の提供や専門家コンサルタントの派遣
- 2) 事業目的を役割分担し協働できる団体の情報とコミュニケーション
- 3) 広報支援。無駄がない戦略的な事業計画とプレゼン方法の支援。
- 4) クラウドファンディング 資金調達と支援者とのコミュニケーション機会
- 5) 適切な活動成果評価
- 6) 主体的な意思決定と合意システムとそれらのプロセス評価
- 7) 事業計画における活動指標の設定 運営方法のコンサル
- 8) 評価の対象となる事業実施前と実施後に行う顧客・スークホルダーのニーズや状態調査
これらの情報を取得しやすい情報ネットワーク提供
- 9) 中間支援センターが行うNPO取材広報や評価
- 10) 事業成果評価方法の確立 (インパクト評価)

これらの支援が社会仕組みとして、システム化されていなければ、NPO法人の次へのステップへの移行は難しい。

● 休眠預金の活用や寄付先の評価

資金分配団体の評価

誰でもが納得がいく評価方法を確立しなければ、ならない。
資金分配団体ができることにより、中央集権化が加速強化され、縦社会が強化される。
新たな利権と権力を生むのみ。このような社会を望んではない。

寄付者自身で寄付先を評価できる評価方法が重要であり、第三者機関の評価を信じて寄付するのは、良いとは思われない。
また、分野別に標準活動評価基準を作成し、それを評価の基準とするのも、NPO法人の自由と多様性を損なうと思われる。

- ロジックモデルとビジネスモデルによるNPO法人の事業プロセス自己評価を広報して、NPO法人が事業成果目標を公に確約宣言することで、法人の責任を明確にする。
それを支援者が評価して寄付先選択をするクラウドファンディングを構築するのが良い。
NPO法人を繋げ共助社会への仕組みを支援しなければならないのは、中間支援センター。
講座や相談会が中間支援センターの役割ではない。

● ネクスト ソサエティ

- 1) 地域主権・フラットな組織
- 2) 個が全体の犠牲にならず、社会に貢献しようとする個人へ専門知識や資源の提供が
ひとりでに出来上がり、同志が集まることができる地域情報コミュニティが構成されている。
- 3) 責任と役割と信頼の社会
- 4) 先の震災の教訓から持続できる共助共生社会

これらは、「考え方」であるから、既存の考え方価値観を見直し、新しい社会を構築することになる。

- 縦社会の考え方からは、新しい社会の仕組みは生まれない。
- 今、まさにその時。よく観察して、どうすべきか考えなければならない重要な時に来ている。